

広報 ふっす

8月'73
No.137

新しくできたプールで泳ぐ
つくし保育園の園児たち

①ガラス類は、コーラ・ジュースなどの清涼飲料水の空ビン、ビール、酒・しょう油などの空ビンの販売業者に回収してもらうことによって、空ビンのゴミを減らすことができます。

②空カンは、自動販売機が普及し、手軽で便利なことから、最近では多くなっていますが、コーラ・ジュース・ビール・酒などはビン入りのものを買うことによって、(II)①で見られるようにゴミの量を減らすことができます。

(III) 焼却しない方が よいものの減量

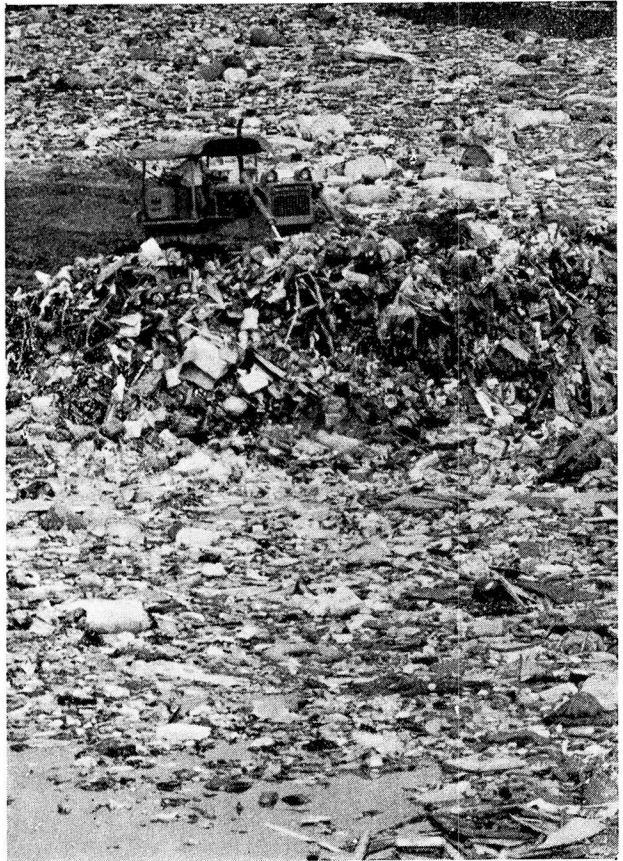
このゴミを減らすことは、大変な努力と根気がいります。

①プラスチック類。プラスチックは、もともと成型が簡単なので、安く大量生産が可能、そのうえ着色も自在にできるので、いろいろなものに使われています。さきほども説明しましたが、プラスチック類の処理は、焼却の場合も、埋め立ての場合もともに困難な問題を含んでいます。従って、このプラスチック類は、ゴミとして出さないというよりも前に、プラスチック製品は必要最少限の品物以外は買わない、使わないというようにすることが必要です。この場合、企業も何かが何でもプラスチックにしてしまうという製造方針をかえなければ効果がうすくなります。

使いすてを 考えなおそう

いくつかの例をあげてゴミを減らす方法を考えてみましたが、このほかにも皆さんがゴミの減量について試みられることをお願いします。

ゴミは無くなるものではありませんが、ありとあらゆるものをゴミにしてしまっても良いものか疑問です。資源の枯渇が叫ばれているとき、使い捨ての風潮を考えなおしてみましょう。



ゴミ

を 考 える

ゴミ戦争というショッキングな言葉を耳にしてから早くも2年になろうとしています。今も、ゴミ戦争の激しさは伝えられますが終わったという声は聞かれませんが、ゴミ戦争に、終わりはないのでしょうか？

ゴミ戦争の 敵はどこに

戦争というのですから敵がいるはずですが。ゴミ戦争の敵は、いうまでもなくゴミそのものです。ゴミといかに戦い、勝つかが重大な問題です。しかし、よく考えてみると、ゴミだけが敵ではありません。ゴミの背後にかくれているもの、つまりゴミを捨てている私たち自身もまた敵なのです。私たちが、ゴミに脅かされている被害者ですが、一方ゴミを捨てる加害者にもなっているのです。

ゴミは変わった

ゴミ戦争に勝つためには、敵をよく知らねばなりません。最近のゴミについて考えてみましょう。

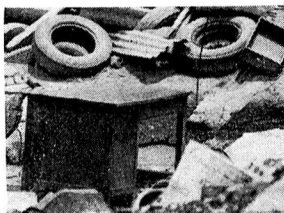
以前はゴミといえば台所から出る残飯類が主なものでした。しかし、急速な経済の成長と技術の進歩は、私たちの生活をかえただけでなく、ゴミの質までかえてしまいました。

プラスチック類の急増……

日本のプラスチック類の生産は昭和35年62万トンであったのが、昭和40年には2.5倍の160万トン、昭和45年には8.4倍の530万トンにも増えていきます。その後も、増加のテンポはゆるめず生産が続けられています。私たちの身のまわりはプラスチック類で一杯です。

粗大ゴミの増加……

大量生産・大量消費の時代を反映して、ゴミは大型化する一方です。テレビ・電気冷蔵庫などの家庭電化製品、ベッド、タンス、机その他木製、スチール製の家具類



がゴミとなって捨てられています。

ゴミ質が変わって その影響は

プラスチック類は、焼却処理が適当ではありません。焼却炉内で高温を出して炉の寿命を縮め、そのうえ黒い煙と有害なガスを発生させ、大気汚染の原因となります。また、埋め立てても、腐りませんから、自然に環元されず、いつまでも、もとの型のままなのです。

粗大ゴミ、これまた焼却にふさわしくないものばかりです。たとえ木製のもので大きなゴミは焼却炉に入りませんが、ゴミとして出されたままの大きさ、型で捨てなければなりません。

これらのゴミをまとめて捨てるには、広大な土地を必要とします。また、ゴミ捨て場所の周囲の人の環境についても十分考慮しなければなりませんから、土地の確保は簡単にはできません。現在、市が使っている場所も今のゴミの排出量の勢いでいけば、わずかにあと2年程度しかもちません。そして近隣の人々には、不快をのんでいただいています。

ゴミ戦争に 勝つために

ゴミ処理施設を充実させることはゴミ戦争に勝つために必要です。

昭和48年3月の広報でお知らせしましたが、福生市、青梅市、羽村町、瑞穂町の二市二町で運営している西多摩衛生組合では、総工費3億2600万円を投じて新しい処理場を完成させました。これにより、古い処理場とあわせて1日の処理能力は200トンになり、現在運び込まれる四市町の1日平均150トンのゴミは十分処理できます。しかし、いまのようなゴミの増加では、昭和52年には早くも処理能力に限界が来ることが予測されます。

一方、処理場の能力をあげ、処

理量を増やすと、それだけ焼却後の灰も多くなるわけです。この灰を捨てる場所を確保することもまた重大なことです。この土地の確保は、さきに説明しましたプラスチック類や粗大ゴミなどの燃えないゴミの捨て場所を確保することと同様困難なことです。

ゴミは減らせる

ゴミ戦争に勝つもう一つの道はいかにゴミの量を減らすかにあります。ゴミ処理施設を拡充するにも限度があります。排出されるゴミの量が少なくなれば、処理施設は効率よく利用できます。

ゴミを焼却できるもの、できないものに区別するとつぎの表のようになります。

(I) 焼却できるもの	①紙 類：新聞・書物・ダンボール・紙箱等
	②木 類：枝木・古材木・竹・枯葉等
(II) 焼却できないもの	①ガラス類：板ガラス・空ビン・電球等
	②空 カン：酒・ビール・清涼飲料水・魚果物等の缶詰
	③セトモノ：カララ・茶ワゴン等
	④古 鉄 材：冷蔵庫・自動車等
(III) 焼却しにくいもの	①プラスチック類：ポリ容器・発泡スチロール等
	②ゴム 類：古タイヤ等
	③ビニール類：袋・包装等

(I) 焼却できる ものの減量

①紙類は、廃品回収を利用することによって大量の紙類をゴミにしないですみます。また、紙類は再生利用できるという点からも、この方法は価値があります。

(II) 焼却できない ものの減量

目でみる 今と昔

⑧ 福生駅前通り
(西口)

提供 青山 実
(福生市牛浜25)



上の写真は、大正末期の福生駅前通りです。

左側一番手前は岩田三省堂書店で、中央に見える半鐘は現在「ミナミ金物店」の前にある噴水のところにあたります。

馬車が走り、道を歩く人たちの服装からも、大正時代の風俗と、当時ののびのびとした光景がうかがえます。下は現在の写真です。

消費者コーナー



暑さをのりきる

食生活の知恵

⇒上手な油脂の利用を⇒

夏を迎え暑い毎日が続いていると、食欲が衰え、油を使った料理は、「油っこい」とか、「しつこい」とか、いって敬遠し、冷たくて口あたりが良いアイスクリームや清涼飲料水、さっぱりしていて手っ取り早いそばやそうめんを好みがちです。このような食生活を続けていると、夏バテばかりでなく、栄養失調にもなりかねません。そこで、この夏バテ防止に油脂をとることをおすすめします。

油脂をとることの重要性

①油脂は、糖質やたんぱく質よりも二倍以上ものカロリーがあるので、油脂をとることにより、胃の負担を軽くし、また三時間以上も胃にとどまるのではらもちを良くします。

②糖質が体内で燃焼するためには、ビタミンB₁の助けが必要ですが、油脂の燃焼にはビタミンB₁の

助けは必要としません。ですから油脂を多くとることは、ビタミンB₁の節約にもなります。

③ビタミンA (この不足は、夏バテを助長します) は、油脂に溶けるという性質があるので、脂溶性のビタミンといわれます。そこで、油脂はビタミンAを運搬するとともに、植物中に含まれているカロチン (体内でビタミンAに合成される栄養素) の吸収をたかめます。

偏食せずに数多くの料理を

レバーはビタミンB₁やAの宝庫のようなものですから、レバーを油脂とともに調理すれば、夏バテ防止剤のようなものを食べていることになります。

油脂の利点を述べてきました。が、油脂だけで夏バテ解消とはいきません。

やはり、偏食せず、数多くのものを食べるのが夏バテ解消の基本であることに変わりありません。

「はたらく消防の写生会」で、

きびしい審査の結果、福生第一小第二小、第五小が、学校賞(東京消防庁広報室長賞)、特選(消防総監賞、準特選に選ばれました。これらの入賞作品は、八月二十日(月)〜九月三日(月)まで、福生駅前「西友ストア」一・二階で展示されますので、おそぞい合わせのうえお出かけください。

もうすぐ新学期

残り少ない

夏休みを有意義に

うことがたくさんあります。とくに小学生には、四十二日間の長期間を見通して計画を立てることがむずかしいため、無理な計画を立ててしまいがちです。そして計画表は実行とは全くかけ離れてしまいい、途中で投げ出してしまいう例が多いようです。

これをそのまま放っておかないで、お子さんの力に合った、実行できるような計画に改めるよう相談のつてあげてください。一つでもよいから計画をそのとおり実行させて、成功感をあじわわせ自信をつけてやるのが大切です。

二、読書の習慣を

さらに広報七月号では、ふだんなかなか読めないでいる長編の読み物や単行本を読む楽しみを身につけさせるよい機会だと書きました。

市立図書館(福祉会館内)と分館(体育館内)には、お子さまの読み物を用意して貸し出しをしています。とくに分館には、お子さま向けの新しい本をいっぱい備えて七月末にオーブン仕上げられています。午後一時から五時まで貸し出しを行っています(月、火を除く)。九月、十月と読書のシーズンに入ります。夏休みのうちに、市立図書館の利用や読書の楽しみを身につけさせることは、今後のお子さんの読書生活に良い影響を与えます。

夏休み中の過ごし方をとりあげ、夏休みは「自分で自分の生活をきずきあげる」ことが基本になります。と書きましたが、お宅のお子さんはいかがでしょうか。

夏休みの終わりは、二期へへのスタートでもあります。残り少ないとはいっても、まだ二週間残されている休みを、さらに意義のある楽しい過ごし方をさせるのが家庭の責任でもあります。

一、計画表の修正を

三、夏休みのまとめと二期のスタート

夏休み最後の週は、計画にもとづいて実行したことや学習したことを、整理しまとめる週といえましょう。学校で出された課題も、自分の計画でやったことも、きちんとまとめをつけて、先生や友だちに見てもらったり、発表できたりするようにまとめることで、夏休み中にきたえたからだ、自分の計画で実行できたという自信は、そのまま二期スタートのバネにもなります。

九月一日、小中学校の先生方は、お子さんが元気な顔で登校してくることを待っています。

文部大臣賞

有松 一佳君

橋本玲子さんも入賞

貿易絵画コンクール

貿易絵画コンクールに福生三年の生徒十人が応募し、三年五組の有松一佳君が文部大臣賞を受賞、三年三組の橋本玲子さんの作品は佳作となりました。

貿易絵画コンクールというのはどういふのですか?

「これは、日本商工会議所主催、文部省後援で行われまして、貿易の促進をアピールするもので、このコンクールは絵のコンクールです。ですからポスターとは違い文



楽しかった

青空コンサート

福生吹奏楽愛好会は、七月一日午前十時五十分から加美平マルフジフットセンター前広場で第三回青空コンサートを開きましたが、広場には、二七〇人位のみなさんが集まり、たいへん好評でした。演奏も一段とうまさを増し、生の音楽の迫力を十二分に披露してくれました。

途中、メンバールと楽器の紹介のとき、トランペットがテレビで同じみの「ちょっとだけよ」の曲を吹くと子供たちから盛んな拍手をうけるといふコマもあり、楽しいひとときを過ごしました。

字が使えませんが、出品した十人の生徒たちは、それぞれ製作に苦心があったようです。指導にあられた玉川晴一先生はこう説明されました。

お二人の作品は……

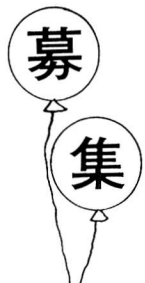
有松君「朝の港の活気のあるところを表現してみたかった」

橋本さん「世界中と貿易出来るように、空港をかきました」

苦心したところは……

有松君「製作に十日間位かかりましたが、色の具合が一番苦心しました」

橋本さん「やはり十日位位かかりましたが、配置と大きいですね」お二人は、絵も好き、運動も好きという生徒さんです。



市政モニター

市では、市民の皆さんとともに住みよいまちにするために、いろいろな仕事をすすめています。

こうした市役所の仕事を、市民の皆さんが、どのように考えておられるか、また、どのようなご意見、要望をお持ちになっているかを直接お聞きし、よりよい福生市をつくるため、市政モニターを募集します。

あなたのご意見をぜひお聞かせください。

募集人員 五十人以上
任期 一年
ただし、本年度に限り、昭和四十八年十月一日から昭和四十九年三月三十一日まで。

謝 礼 薄 謝
仕事内容
①市政についての意見、要望、提案および地域の話題 出来ことなどの報告
②市が送付するアンケート等への回答
③その他(施設見学会、モニター連絡会などへの出席)

申込方法
申込用紙は、市役所市民相談係

資格
①満二十歳以上の福生市民
②引き続き一年以上福生市に住んでいる方

応募要領



投票率は59.84% =東京都議会議員 選挙の結果=

7月8日に行われた都議会議員選挙は、全体的に低調でしたが、福生市の投票率も59.84%で、前回(昭和44年)の64.14%にはおよびませんでした。

投票結果は、つぎのとおりです。

- ▷有権者数 28,227
- ▷投票総数 16,891
- ▷有効投票 16,691
- ▷無効投票 200

候補者別得票数

- 田村利一 9,904
- 島田 久 3,589
- 松平重幸 3,198

投票所別投票状況

投票所	男女別	有権者数	投票率%
市役所	男	1,687人	66.39%
	女	1,744	67.14
第一小学校	計	3,431	66.77
	男女	1,733	69.36
第二小学校	男	1,851	72.02
	女	3,584	70.73
市民館	男	2,497	60.23
	女	2,445	61.23
すみれ保育園	計	4,942	60.72
	男女	1,623	56.93
多摩工業高	男	1,844	53.15
	女	1,844	53.15
第二中学校	計	3,467	54.92
	男女	2,322	53.14
第一中学校	男	2,743	48.89
	女	5,065	50.84
計	男	1,252	63.26
	女	1,247	59.66
計	男女	2,499	61.46
	男女	1,039	64.29
計	男女	1,071	57.42
	男女	2,110	60.81
計	男女	1,508	57.03
	男女	1,621	55.95
計	男女	3,129	56.47
	男女	13,661	60.79
計	男女	14,566	58.96
	男女	28,227	59.84

消費者講演会を開催

「一週間にマクロなら刺し身で四十七切れ、アジなら十二匹」先日の厚生省のこのような発表により、多くの消費者の方が、毎日の食卓を考えるうえで不安を感じておられることと思います。そこで食品公害について講演会を開催いたします。

みなさんに食品公害について正しく認識していただくためにも一人でも多くの方の参加をお願いいたします。なお、当日は、食品公害に関する映画も上映する予定です。隣り近所おさそい合わせのうえお気軽にご参加ください。

を催いたします。

消費生活係(☎51-1511内線292)へ。
日時 九月六日(木) 午後一時十五分から
会場 福祉会館三階ホール
テーマ 食品公害(PCB・水銀等)について
講師 松岡博厚先生(立川短期大学)
参加費 無料

家庭用計量器の 無料検査 =簡単な故障は 無料で修理=

東京都計量協会により、計量器の検査を行います。ご近所おさそい合わせのうえお出かけください。

当日は、簡単な故障は無料で修理しますので、どんな古いものでもお持ちください。

日時 9月10日(月) 午前10時~午後4時
会場 福栄町会集会所
対象器具 体温計、寒暖計、ヘルスメーター、キッチンスケール、手ばかり等
(ただし、家庭用のものに限る)
その他お問い合わせは経済課消費生活係(☎51-1511内線292)へ。